

**オリンパスの科学事業が株式会社エビデントとして新たにスタート**

オリンパス株式会社は2022年4月1日付で、新たに設立した完全子会社株式会社エビデント（以下エビデント）に対して、当社の科学事業を承継させる手続きを完了したことを発表しました。オリンパスは、2021年1月に映像事業を譲渡しておりますが、今回の科学事業の分社化についても、真のグローバルなメディカル・テクノロジーカンパニーとして、業界の中での確固たる地位を確立するための長期的な戦略の一つとして、2021年6月に検討の開始を発表していました。

新たに設立されたエビデントは、日本に本社を置き、引き続きオリンパスの完全子会社として、経営の独立性を持って科学事業を発展させてまいります。オリンパスの科学事業は、ライフサイエンス分野、産業分野において、お客様のさまざまなニーズに応える製品・ソリューションを提供してきました。今後、自律的な経営が可能になることで、お客様のニーズに、より迅速かつ柔軟に対応することが可能になります。

エビデントの代表取締役社長である齋藤吉毅は、今後の注力領域について以下のように述べています。「エビデントは、引き続きお客様に高品質の製品をお届けするだけでなく、今後はデータやクラウドを活用したソリューションを拡充することで、研究や検査の分野において、お客様への提供価値向上およびワークフローの改善に努めてまいります。また、製品の販売が中心であったこれまでのビジネスモデルを、お客様の課題解決型のモデルへとシフトします。自律的な経営が可能になったことで、アジャイル型の製品開発やオープンイノベーションを推進し、製品の展開スピードをより高められると考えています。」

新しい社名は、お客様がその専門領域において新たな洞察やエビデンスを引き出すため、引き続き高品質な製品と専門性の高い技術を引き続きお客様に提供することへの当社の決意を表したものです。また、これまで以上のお客様とのコラボレーションや、更なる顧客視点の事業方針への意気込みも示しています。

詳細に関しましては、エビデントのHP（[EvidentScientific.com](https://evidentscientific.com)）をご覧ください。

**エビデントについて**

エビデントは、科学的な視点で物事を見る姿勢を事業の根幹とし、イノベーションと探求の精神が私たちの行動の原点となっています。世界の人々の健康と安心、心の豊かさを実現するため、医学的研究分野、インフラ設備の点検、製造現場における品質管理、消費材に潜んだ有害物質の検出など、さまざまな現場におけるお客様の課題解決や成果の向上に貢献します。エビデントの産業分野におけるソリューションは、設備の保守、製造、環境用途の顕微鏡、ビデオスコープ、非破壊検査装置、X線分析装置まで多岐にわたっています。また、最先端の技術を搭載したエビデントの産業分野の製品は、品質管理、検査、測定分野でも幅広く活用されています。ライフサイエンス分野においては、最先端のライフサイエンス・ソリューションの提供し広くコラボレーションをすることで、科学者や研究者の方々や病理医をサポートします。常にお客様の抱える課題の解決や、新たに生じるニーズに応えるべく、臨床研究や不妊治療、教育分野などに向けた幅広い用途の顕微鏡システムのラインアップを提供しています。